



俺が
孕ませ
忘れるわけがない。

「このお兄さん
私たちのこと
見てましたよね」

「ねえ、私たちのおっばい
見せてあげるから
あなたのちんぽ見せてよ」



「うわ、ほんとにちんぽ
出してるw きもっ!」

「仕方ないなあ
ほら、おっぱい
見せてあげる」

「オナニーしたらどうですか
お兄さん、こんなチャンス
滅多にないですよ?」

「えい! 踏んじやえ
…うっ!、だつてw」

あーっ！

やだ、精液
飲んじゃった

わっ！

ちよつと
あんた何、勝手に
射精してんの！

はあ？

調子にのんな！
変態！



「気持ち悪いです
消えてください」

「はあ？ あんたとなんか
ありえないんだけど」







イケたい?

もうイッちゃうんごすか?

ぎゅ

わ

ぎゅ

わ







また抜いて
あげるから♡

オナニーして
くださいね♡



お兄さん

どうして
逃げるんですか？

私とHしたい
んですよね！！





「そんなこと言っ
て服の上からでも
おちんちん大きくなつてるの
分かってるんですからね」
「女の子の口で……してもいいた
くないですか」



あやせ、これ
やっぱりやばいって

ん30

ん30

ん30

ん30

んっ

じゅん

ぶじゅ





わたし
赤ちゃん
孕むまで

お兄さんのおちんぽから
精液しぼり取りますから

覚悟して
くださいね

んちゃー

んちゃ

んちゃ

んちゃ

んちゃ



「お兄さん、もつと
えっちしまししょう」





「エロゲーするだけだつて、
言ったじゃん！」

「あー」







ふぁ

「もう、ぜつ……たい！
あんたなんか
家に呼ばないから！」

「兄貴が帰ってくるから
早く帰ってくんない？」



プールにて

「人がいない穴場の海って
言ってたのに……」

「ここ市民プールじゃないですか!?」

「めっちゃくちゃ人いますし
こここんなところで
どうやってHするんですか!?」

「もう普通に、遊びますからね!」

「え? やだ、なに水着めくって……!」





(うそ……なんで?)

(桐乃や他の人が
いっぱいいるのに……)

(やっぱりこのお兄さん
ド変態じゃないですか!)

(……でも、今日は出る気で
来たから、我慢出来ない……!)



(んんうう……ああ！
私、市民プールで
H……しちゃった)

(男の人のちんぽ
挿入されてる……！)





(え？ なんでお尻の穴に
ちんぽ、あてがつてるんですか？)

(押しつけないでください
女の子ですから、うんこ出ちやう穴を
触られるのは、さすがに恥ずかしいです)

(……あ？ 嘘、ちんぽ
ぐいぐい押し込まれてる)

(入れようとしている……！?)

(そこ違いますよ……!!
女の子の穴じゃ……!)

(あ……めめめめ!!)





(もう、ほんとに変態
バカなんじゃないですか！)

(でも、ちんぽ抜かれると
大きなうんちしてるとき
みたいに気持ちよかった
なんて……言えない)

「あんたのちんぽなんか
触りたくないから
足でしてあげる」



「こんなのが気持ちいいんだ
この変態チンポ野郎」

ドビュ

ドビュ



「はい、これで満足した？
今日は終わりね」



「何あんた、私と
えっちしたいんだ？」

あ♡

「でも、今日は絶対ダメ
兄貴もう帰ってきてるし
私、声出しちゃうから
あ！ だから…ダメだって」

あ♡

あ♡
あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡
あ♡



あし、今ごっち見てたっしょー！

おまわりさん
変態がいますよー！



加奈子、お金なくて
困ってたんだ

お金くれんなら
見せてやってもいいよ



うげっ！
見せてやるって言ったけど
なんでちゃんぽ出して
シヨシヨしてんだよ

ガチの変態かよ！
人から見えちゃうだろ！
あーもう早くしろよ！



うえええ！ ペっぺっ
何ぶっかけてんだよ
精子きめえ！

みなさん、
変態に犯されましたよー！

ちよ、逃げんな！
千円置いてけー！



「え、桐乃が呼んでるんですか？
分かりました」

「今度の体育祭
勝てるといいですね」

「このチア姿で応援しますから
男子は頑張ってくださいね」







「……ムリヤリなんて
最低ですね！
この変態！ 犯罪者！
ちゃんと告白くらい
してください！」

「服着たままだから
チアの衣装
汚れちゃった
じゃないですか！」





「桐乃し、●●くんを
お風呂に入れてあげて」
「えー……う、うん」
(まあ、学生だしいつか)



そこに入れちゃダメだつて!

●●くん、ダメ!

ちぎっ!?

お姉ちゃんから離れよ? ね?





はじめてなのに!

もうやだ!

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ

ビュッ

加奈子お、誰かさんのせいで
妊娠しちゃったんだよね♪



何まわりキヨロキヨロ
してんだよ！
おめーだよ、おめー！

加奈子にぶっかけやがって
周りの人に心配されたから
加奈子、学生なのに
AVの撮影ってことにしたんだぞ！



ってまた
オナつてやがるし
どんだけ加奈子のエロボディ
好きなんだよ

責任取れつつつてんだよ！
結婚だよ結婚！
お前の女にしるって



ぷへっ!
まだ喋ってんだろ

そんなに元気なら
加奈子と一発やれよ!





「落ち着けつて！
そんなに突いたら
加奈子のおまんこ
壊れちゃうだろ♡」

どええ!!

「あ、あ、あなたたち！
何してんの！」












「もうてめーは
加奈子の男だからな
ムラムラしたら
加奈子のおまんこ使えよ」



エロ可愛い女の子がいたので
遠目にちらちら見つつ
膨らんだ股間を触っていた
一瞬、二人と目が合った気がした

やばいと思ったときには、
徐々に二人がこちらへと
近づいてきて……



「ほら見ててあげるから
そのお粗末な物
しごいてみなさいな」

「あんだ、私たちのムコと
見てたでしよ？」



「うっわ、きも！
女子学生
の裸見て
ほんとにシコ
ってるし」

「ほらほら
早くイッてしま
わないと
周りに気付か
れるわよ」

「あの…?」
「そんなに心配しなくても
いいんですよ、お兄さん。
痛くしないでですから
さあ、力抜いてください」

ん

この後、お尻を
めちやくちやにされた



早くお尻の穴を
こっちに向けなさい♪

私の手を
突っ込んであげるわ



早くお尻の穴を
こっちに向けなさい♪

私の手を
突っ込んであげるわ



「これから何するか分かる？
あんたのケツ穴に
このあたしの手を突っ込むの」

「学生女子で読者モデルの
あたしの手、価値が分かる？
キモオタなら泣いて喜ぶシチュでしよ
ほら、逃げんな！
逃げたらグーだかんね」



「ふひひひ、どう？
気持ちよかった？」

「ベッドで大人しくしてれば
また今度してあげるからね♪」



五更さんを捕まえてみた

やはり可愛い





ちんぽを挿入してみる

気持ちいいようだ

膣内に射精した

小さな身体が
ビクビクとはねる



きつぎつの
アナルに挿入した

声にならない悲鳴を上げ
ガクガクと震えている





そのままアナルに中出し

気持ちよくなつたようだ









「聞いた？
新垣さんちの娘さん
行方不明らしいわよ」



「落ちて着けつて！
そんなに突いたら
加奈子のおまんこ
壊れちゃうだろ♡」

どええ!!









「あ、桐乃、私たちのラブラブセックス見てかね？」

「あんなたち、またこんなところで！友達のH見るとかちよー気まずいっての」



●●
●●
私、くんのちんぽ汁で
妊娠しちゃいました♡



「お兄さん、もつと
えっちしまししょう」





「あの…?」
「そんなに心配しなくても
いいんですよ、お兄さん。
痛くしないでですから
さあ、力抜いてください」

ん

この後、お尻を
めちやくちやにされた





「あなたとの赤ちゃん
早く産みたいです」

「名前は、なんて
名付けますか」

「ふふっ、今、
動きました」









(もう、産まれたばかりのゆるゆるのおまんこに入れるなんて、やつぱりあなたは変態です！)

(……まあ、やるんじゃないかと期待して、いえ、思ってたんですけど)



(これからもよろしく
お願いしますね)





あんたのせいで
妊娠したんですけど？

なんで会いに
来ないのよ...バカ









「学生を孕ませた責任……
ちゃんと取んなさいよ！」

「あ」

「ふ」

妊娠した五更さんを捕獲

野に放したことを
少し怒っているらしい





アナルに挿入してみた

感じているのが
悔しいようだ

出産間近の膣内に
挿入してみた

いつもより敏感に
なっているようだ





五更さんの出産を確認

一緒に住むことになり
責任取らされるようです





●●くんがいつばい
中出ししちゃったから
お姉ちゃん
妊娠しちゃったでしょ！



お姉ちゃんの膣内に出しちゃってもいいから、ね?

ほら、焦らないで

あ

あ

あ

パッパ

パッパ

パッパ











もうHなんだから!

ヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッ



「聞いた？
新垣さんちの娘さん
行方不明らしいわよ」





「そこのお兄さん
私と円なしてませんか？」
「本物の女子学生です。」





ん

ん

ん
ん
ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



「オレはモデルの親友を
連れて来たから
私には関係ない
くたばるなよ！」

「モデルの親友がいるので
頼んでみます…だから」

「黒い今日、暇？
一緒に来て欲しいんだけど」

「来てくれるだけで
いいから……
何もしない……から」

「…あ、あなたたち何を？」

「離しなさい、ちや
痛つ……うああー！」







カ
カ
カ

あ
あ
あ

ど

ふん
ん

ひび
び

び
び

「あやせの後は
あたしだかね」









「お願いよ
中出しは我慢するから
休ませてちょうだい」

びしょ

びしょ

はっはっ

はっ

はっ

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん



「わたしたち
お兄さんとの赤ちゃんを
妊娠してしまいました」

「あんたとの子供
産んであげるから
感謝しなさいよね！」

「ふふ、あなた
世界一の幸せ者ね」





「私、元気な子を産みますから
見守っていてください」

「あ、動いた！ ほら
あんたもお腹触ってみてよ
なに、ビビってんのウケるw」

「私が誰かと子をなすなんて
考えたこともなかったわ
……悪くないものね」



「私たちのこと
幸せにしてくださいね」

「あんととの子供……嬉しい。
また子作りしちやおつかか？」

「いらつしゃい
もう一人くらい
あなたとの子を
産んであげるわ」

「ほらお兄さん
今日の分のお乳ですよ」



「他の人のお乳を飲んだら
許しませんからね」



「あら、あなたもしかして
母乳が飲みたいの？」

「フフツ、こつちには
いらつしやない」



「いい大人が
夢中になつて」

「どつちが子供か
分からないわね」





「まだおっぱい出そう
なんだけど……
あ、あんた飲んでみる？」

「べべ、別に、
いやならいいんだけどさ」

「ちよつ、待つ…て!
もう母乳、出ないって」



赤ちゃんを抱いている
学生くらいの子が可愛くて
ちらちら見ていたら
服の隙間からぽろんと胸を出し
授乳しだして興奮した



やばい。目が合った

おっぱいに気を取られすぎて
目をそらすタイミングを失い
見つめ合ったまま
そらすにそらせない



結局、彼女の方から
目をそらしてしまつた
すました顔をしているが
顔が赤くなっているのが分かる



照れてる姿も可愛いかった